

粟津町内会 各位

回 覧



廃品回収のお知らせ

平素は少年団活動にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、下記の通り廃品回収を行います。少年団の貴重な財源になりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

7月22日（日） 毎月第4日曜日

雨天の場合は、中止させていただきます。

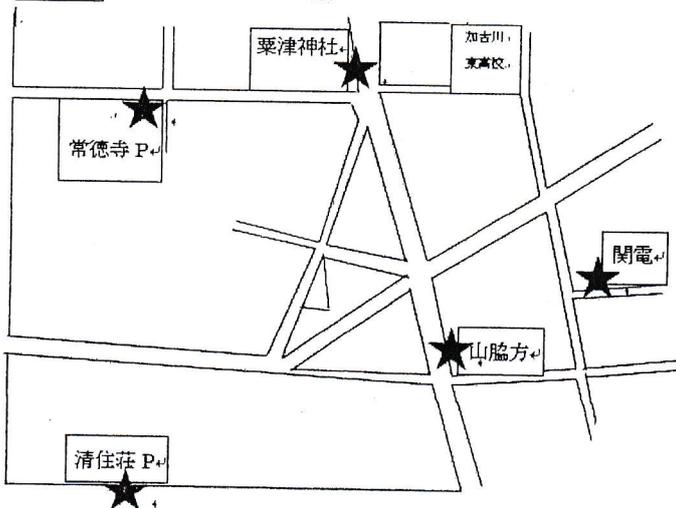
収集につきましては、お手数ではございますが所定の場所へ午前8時40分頃までに持ってきていただくようよろしくお願いいたします。

なお、お年寄りのご家庭で、所定の場所に持って行くことが困難な方は、下記の連絡先までご連絡ください。
少年団総務 横山(よこやま) TEL 090-1598-5085

収 集 物

新聞紙・雑誌・ダンボール・アルミ缶・古着

地図 ★印：回収場所



注意 【収集できないもの】

スチール缶、ペットボトル、
布団・毛布など寝具、
下着類(肌着、くつ下など)

ホームページ

粟津少年団 → 検索

こちらからも廃品回収の日程や回収場所がご覧になれます。他にも粟津少年団ソフトボールクラブのホームページなどもございます。是非、ご覧ください。

地震防災の安全確認の依頼

※災害は忘れたところに遣ってくる。

粟津町内会長 菅野 信成

阪神淡路大震災から 23 年が経ちました。

大多数の方は、当時の被災状況をまだ忘れてはいませんか？

6 月 18 日(月)通勤通学の時間帯に、大阪北部で震度 6 弱の直下型地震が発生、数名の尊い命が失われました。被災された方々には衷心よりお悔やみとお見舞い申し上げます。

今回の状況を TV で見る限り、小学校プールサイドの倒壊ブロック塀については、人災といっても過言ではありません。常識では考えられないような状況です。軽量のフェンスからブロック塀に変えたようだが、単に目隠し・ブロックは頑丈と考えたのか理由はわかりませんが、ブロックに変えたことで塀が重くなり、重心が高くなり、揺れに対して負荷が大きくなる。そのため基礎部の固定強化と控え壁の設置は常識です、まして 40m もの塀ならなおさら。たぶん倒壊したブロック塀には鉄筋が入っていたようです。倒れ落下しても 1 枚物の状況を保っていましたから。

そこで、粟津町内に目を向けてください。前回の阪神淡路大震災で倒壊はしてないが、ブロック塀の下部、あるいは縦にひび割れのできた塀はありませんか？

地震で道路側に倒壊の危険性大です。今一度確認して補強や修理をお願いします。

より安全な粟津町内を目指して、個人の負担は大変ですが、ご協力をお願いします。

* 災害時に重要なことは、先ず逃げ道の確保（閉じ込められないこと＝玄関扉は開きますか？）と避難・救助用通路の確保です。

* 1 日分の非常用食糧や飲料水は常に確保していますか？

* 町内会の防災教室に参加して、基礎知識を学びましょう。

* 近隣の方とも気軽に話ができる雰囲気をつくりましょう。

以上は今回の地震発生で感じたことです。